



JASDI

平成 30 年度第 1 回 JASDI フォーラム

テーマ：『GPSP 省令の改正とMRによるPMS活動』

ービッグデータ活用の時代を迎え、MRの医薬品情報活動はどうあるべきかー

医薬情報担当者は、「医薬品の適正使用に資するために、医療関係者を訪問すること等により安全管理情報を収集し、提供することを主な業務として行う者をいう」とGVP省令において定義されている。MR（医薬情報担当者）によるPMS活動は医薬品の安全管理に重要な役割を果たしてきた。

平成30年4月に改正GPSP省令が施行され、製薬企業は医療情報データベースいわゆるビッグデータを用いた製造販売後調査に基づき、申請資料を収集、作成することが可能となった。改正GPSP省令によってMRの果たすべき役割は変わってしまうのだろうか。MR不要論にますます拍車がかかるのではないだろうか。

本フォーラムでは、行政の立場、医療関係者の立場、製薬企業の安全管理部門の立場、そしてMRの立場から改正GPSPの施行によってもたらされる医薬品の安全管理体制とMRのあり方について検討する。

《プログラム》

日 時： 2018年7月21日（土） 13:30～16:45（受付開始は13:00から）

主 催： 一般社団法人日本医薬品情報学会
(JASDI : Japanese Society of Drug Informatics)

後 援： 日本製薬工業協会
公益財団法人MR認定センター

会 場： 東京大学薬学系総合研究棟 2階 講堂

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_10_02_j.html

13:30～13:40 開会挨拶 (一社)日本医薬品情報学会 理事長

13:40～15:30 講演

座長： 公益財団法人MR認定センター 事務局長 近澤洋平

講演 1. 13:40～14:05

「GPSP 改正とリアルワールドエビデンス時代の安全対策」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 組織運営マネジメント役 俵木登美子

講演 2. 14:05～14:30

「病院薬剤師から見たビッグデータ活用への期待」

宮城県立がんセンター 薬剤部 土屋雅美

講演 3. 14:45～15:10

「製薬企業の安全性管理部門から見たビッグデータの活用への期待」

大塚製薬株式会社 PV部メディカルセーフティー室 滝沢京子

講演 4. 15:10～15:35

「制度が動く時代に MR に求められるアウトカムとは」

木村情報技術株式会社 コンサナリスト事業部長 川越満

15:40～16:40 総合討論

「ビッグデータ活用による医薬品の安全管理体制と今後のMRのあり方」

16:40～16:45 閉会挨拶

(一社)日本医薬品情報学会フォーラム委員長

参加費：当日会場にてお支払いください。

日本医薬品情報学会会員	3,000 円
〃 賛助会員社員	3,000 円 (当日会社名を確認させていただきます)
非会員	5,000 円
一般市民 (患者団体の方)	1,000 円
学生	1,000 円

参加申し込み：

JASDI ホームページよりお申込みください。

<http://www.JASDI.jp/>

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、(社)日本医薬品情報学会が指定する講演会です。
本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出 (証明書)」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。

希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール」または「日病薬病院薬学認定研修単位シール」を配付致します。